

# 検査制度の改善に係る意見の収集 検査官からの意見 (案)

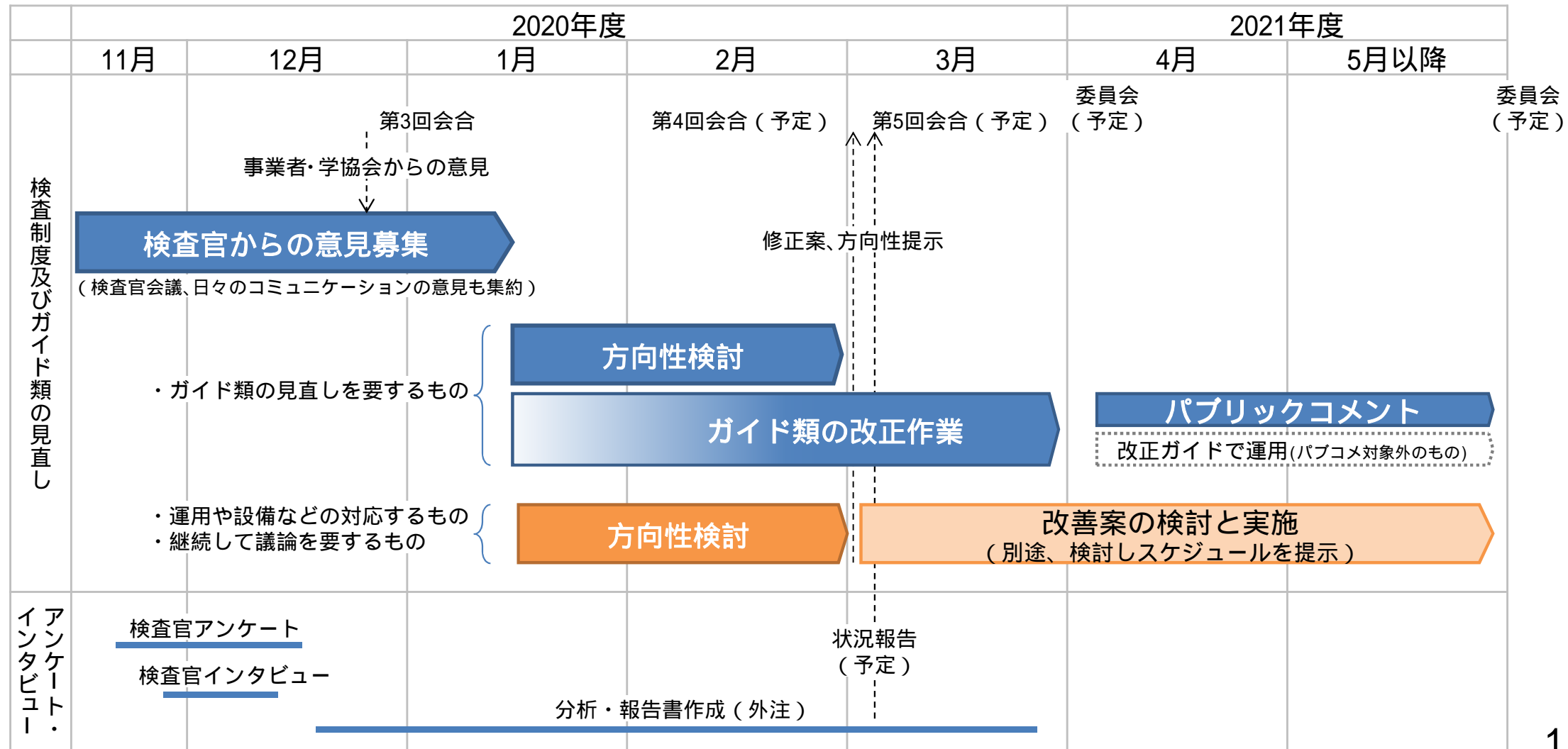
# 1. 検査官からの意見の収集状況とスケジュール

## (1) 検査官からの意見の収集状況

- ・これまでに実施した検査官会議や日常的なコミュニケーション（日々のテレビ会議やメールなど）で意見を収集している。これに加え、現在、検査制度やガイド類の見直しについて検査官からの意見募集を行っているところ。
- ・検査官の意識調査（アンケート及びインタビュー）を実施し、今後、分析を行うこととしている。

## (2) 意見を踏まえた今後対応スケジュール

上記で収集した検査官からの意見及び本会合で頂いた意見を集約し、以下のスケジュールを進める。



## 2 . 検査官からの意見

### これまでに実施した検査官会議や日常的なコミュニケーションでの意見（1 / 2）

カテゴリ		検査官からの具体的な意見の例
ガイド類の見直し	サンプル数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サンプル数の消化を重視するあまり、検査業務が形式的なものとなる恐れあり。リソースが限られる中、サンプル数の消化と気になる問題の深堀のどちらを優先すべきか判断に迷う。</li> <li>・ 実績を踏まえサンプル数の変更や検査ガイド毎に固定されているサンプル数を、現場が柔軟に設定できる仕組みを考えてはどうか</li> </ul>
	その他	<p>&lt; ガイド全般 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検査ガイドが想定していない、又は、検査ガイドでは対応できない状況がある（例えば、電力自主設置設備などの検査での扱いや判定に苦慮）</li> <li>・ 新検査のサイクルのガイド作成について本庁は無責任</li> <li>・ 原子力規制検査を実施していく上での適切な用語を決めて使用してほしい</li> <li>・ 締めくくり会議は必要にあわせて実施するとガイドを変更してほしい</li> </ul> <p>&lt; 報告書の記載 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常検査にてチーム検査のガイドにある視点で指摘を見つけた場合の取扱い、報告書の記載方法</li> <li>・ サンプル（実績）の数え方</li> <li>・ 検査報告書のまとめ方</li> </ul> <p>&lt; 誤記訂正等 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通ガイドと設計管理ガイド間で、研開炉の整理に差異がある</li> </ul>
検査官の情報共有・教育等	会議の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検査官会議や所長会議に出だされた意見や希望はリスト化して、検討要否、優先順位を決めて必要な案件は、しっかりフォローし、その後の会議でその対応状況や対応結果を共有して欲しい</li> <li>・ 各事務所の検査官が一番情報共有して頂きたい内容は、「指摘事項」の内容であり、「指摘事項」を中心に議論して頂きたい</li> <li>・ 現在毎日実用炉監視部門とのTV会議を行っていますが、この頻度を減らすことを検討して頂きたい</li> </ul>
	共有する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他事務所のサンプル選定の考え方を知りたい</li> <li>・ サンプル選定する上で拠り所となる機器の安全重要度を把握するためには、設置許可など審査の知識が必要</li> <li>・ 検査監督総括課の方には、日々の検査活動でも実用炉監視部門と同じように事務所に寄り添っていただきたい。日々実施しているPWRやBWRのTV会議に出席して事務所の悩みや苦労を知って実態を理解して欲しい。</li> </ul>
	教育のテーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的なリスクインフォームド検査の理解に資する研修等の機会を希望</li> <li>・ 火災防護など馴染みの少ないテーマに関する勉強会は歓迎します。加えて、地震防護、津波防護、内部溢水、重大事故についても勉強会で取り上げて下さい。</li> <li>・ 米国事例や、過去のニューシア事例では記載されている範囲の情報しかなく、範囲外の内容を想像して議論すると発散してしまいます。他事務所に展開するタイムリーな事例を検総課や専門検査の方も交えて検査の視点や方法、注意点、先行実施した事務所の情報（良好／反省）なども交えて検査の進捗に合わせて議論したり、アドバイスをいただけるような勉強会を実施して頂きたい。</li> </ul>

## 2 . 検査官からの意見

### これまでに実施した検査官会議や日常的なコミュニケーションでの意見（2 / 2）

カテゴリ		具体的な意見の例
検査業務の運用	要員関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休暇取得の義務、研修受講義務、病院通いなどから検査官が1名欠けると仕事が回らない状況。日常業務のほか、休日の待機難しい状況。</li> <li>・ 全ての事務所において検査官の数が十分か、疑問に感じます。</li> </ul>
	本庁との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞きたいことがあったとき、本庁のどこに聞けば良いかわからない</li> <li>・ 技術的な相談、法令的な相談について、窓口として確立頂けると相談しやすいです</li> </ul>
	特重関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特重施設 / 情報へのアクセスについての制限</li> </ul>
	地元への報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検査結果報告書を基に地元で報告を行うが、指摘事項がないとあまり記載がないことから活動内容を口頭の補足が必要。</li> </ul>
	原子力規制検査システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気づき未満の事柄も記入できるような改良を希望</li> <li>・ 検査実績のある検査官をメンバーに含めて、システムの再構築をして頂きたい。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フリーアクセスとなったことから、資料収集などを事業者に依頼することを躊躇する。</li> <li>・ 酸欠危険エリアへのアクセスについてのルール</li> <li>・ 事業者の行う行為で本庁にて分からない事を現地にて検査官が確認するとき、確認の目的を明確にして頂きたい</li> <li>・ 専門検査・チーム検査が多数入ってきている。同じ週に2つの検査が入ってきたりして、人の割り振りが大変。重ならないような調整を願う。</li> <li>・ アクティブ試験を経験した検査官がいないことから、検査体制や手法を検討する必要あり。</li> </ul>
執務環境	装備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フルハーネスの安全帯の配備計画</li> </ul>
検査制度の継続的改善	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理職の考えが見えない</li> </ul>

上記に加え、現在、検査制度やガイド類の見直しについて検査官から意見募集を行っている